

丸亀城跡（大手町地区）第8次発掘調査の中間報告について

1 丸亀城跡（大手町地区）第8次発掘調査期間

当初予定 令和4年5月9日～令和4年12月28日

2 検出遺構（北側）と出土遺物（別紙1参照）

遺構

歩兵第12連隊兵営に伴う善通寺衛戍病院丸亀分院の兵舎基礎（近代）

道路遺構（江戸時代前期～末期）

井戸（江戸時代前期～後期）

排水路・溝跡（江戸時代初期～幕末）

廃棄土工（ごみ穴）（江戸時代前期～幕末）

建物跡（江戸時代）

遺物

生活雑器 肥前産陶磁器（安土桃山時代～明治）、備前焼、京焼

瓦（生駒期～幕末）、土製品、木製品（漆器椀、下駄）、金属器（^{かんざし}簪）、銭貨

3 期間の延長について

遺構や遺物が想定以上に多く検出されたことや大雨時の復旧など、予定が約1月強遅れている。北半分の調査状況から推定して南側も概ね同じくらいの調査期間が必要である。

変更 令和4年5月9日～令和5年2月末頃



作業風景



大雨による被害状況

丸亀城跡（大手町地区）第8次発掘調査中間報告

丸亀城跡（大手町地区）第8次発掘調査は、市民会館の建設に伴い令和4年5月9日から令和4年12月28日までの期間を予定しております。

主な検出遺構としては、歩兵第12連隊兵営に伴う善通寺衛戍病院丸亀分院の兵舎基礎（近代）、道路遺構（江戸時代前期～末期）、井戸（江戸時代前期～後期）、甕を埋めたものや瓦や土器などを廃棄するためのゴミ穴等である土坑（江戸時代前期のものから幕末のものまで）、溝（江戸時代初期のものから幕末のものまで）、建物礎石などがあります。

中でも、道路遺構は絵図と一致する場所で検出され、幅が約7.5mあり、両側に側溝を設けていることも分かり、丸亀城下では初めての発見となりました。また、井戸はこれまで城下町で検出されたものより大型で、残存状況は良好です。土坑は深く大型のものが多く、出土する遺物量も過去の調査時より多い傾向です。

主な出土遺物としては、肥前産陶磁器（安土桃山時代～明治）、備前焼、京焼などの陶磁器、瓦（生駒期のものから幕末のものまで）、土製品などがあります。また、漆器椀や下駄などの木製品、銭貨や簪などの金属製品も出土しています。

北側では、第5面までの調査を実施しており、南側でも同様に4～5面の遺構面があることを想定しています。各遺構面の時期としては、第1面は近代、第2・第3・第4面は近世（江戸時代前期・中期・幕末）、第5面は中世となっており、近世以前の遺構についても少ないですが確認しています。



調査区遠景（2022.9.16撮影）



遺構掘削状況



井戸検出状況



土坑（瓦溜り）掘削状況



道路検出状況



柱穴（中世遺構）完掘状況